



ライラック友の会ニュース

The Japan Lilac Friends Club NEWS

2017年 9月吉日 発行

全国のライラック友の会の皆様 お変わりなくお過ごしのことと思います。日ごろは友の会の活動にご理解を頂きまして大変ありがとうございます。ここ2, 3日は台風15号の影響が過ぎやすい日々が続いていますね。そろそろ梅雨明けに備えて愛車の整備に余念がない方も多いのではないのでしょうか 晴れ渡る青空の下、ライラックでショートツーリングなど最高ですね。そして秋にはライラック友の会集いが待っています。いつまでも健康なカラダでライラックにまたがりたいものです。



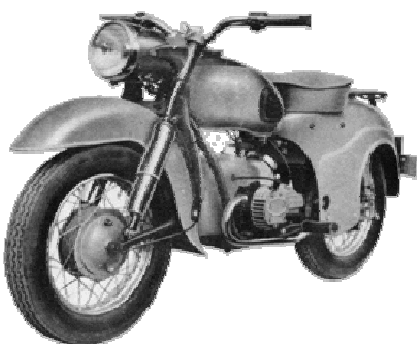
日置会長退任のご挨拶

思い起こせば、昭和51年10月にライラック友の会を立ち上げて以来40余年の間、会長をやってまいりましたが、寄る年波には勝てず第42期から会長職を遠藤輝義さんをお願いすることになりました。これまでやってこられたのも丸正自動車製造(株)のOBの皆さんを始め友の会会員の皆様、全国のライラックマニアの皆様、マスコミ、行政の方々など多くの人たちのご支援の賜物と深く感謝をしているところです。今後は元気な限り一会員として皆様と共に活動して行こうと思います。最後になりますがこのようなことをやってこられたのも日本が平和だからだと思います。平和憲法を守り、次世代に引き継いでいくことが私達の責任ではないでしょうか。これは私の信条です。永い人生、多くの人と知り合い、お付き合い頂きありがとうございました。どなた様も健康で長生きをしましょう。皆様とお逢いでき本当に感謝しております。どなた様も良き人生をお送りください。

平成29年9月吉日 日置義明

☆☆☆☆ 42回ライラックの集い ご案内 ☆☆☆☆

日時:平成29年10月28日(土曜日)午前11時集合
場所:今年も浜松市西区館山寺町110-6 東方塚会館で行います。
宿泊:浜名湖かんざんじ荘 TEL 053-487-0257
当日の連絡は遠藤輝義さん 090-6462-9296までお願いします。
参加費用:2000円 懇親会出席:+7000円 宿泊の人:+8000円 第42期会費:5000円
申し込みは10月21日土曜日午後8時までお願いします。
申し込み先 遠藤輝義さんTEL ケータイ090-6462-9296 固定 053-428-5618



去年のひとコマ



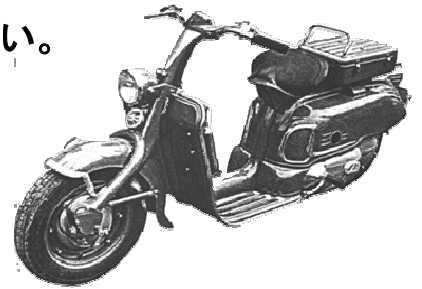
42期新体制 次の方々が新役員に決まりました。

会長:遠藤輝義 機関紙担当:安田治 山本典生 連絡員:小林孝之(関東) 菅沼壮平(信越) 安田治(関西)

の皆さんです、よろしくお願ひします。

役員をやるとわかりますが、なかなか大変です！！！！ 会からの依頼事項は早く確実・正確をモットーで協力を。

42期会員を募集します 同封の申込用紙に記入の上、申込ください。
年会費5000円 締め切り10月28日厳守でお願いします。



遠藤会長 新任のご挨拶

満面の笑みを浮かべる遠藤輝義氏

皆様、お世話になります、日置会長よりバトンを受け取ってしまった遠藤と申します、目の前で落とすものですので、あつもしと拾い上げ落とされましたよと顔を上げたらもうおりません、他に誰かと思えばどなた様も西へ東へとああ忙しいああ大変だと走り去ってどうしたものかとまごまごしている内にこの始末。 エェ冗談はさておき、今回その引継ぎについての挨拶をと依頼を受けましてのご連絡となります。 まず有資格の諸先輩会員様方を差し置いてライラック友の会という歴史のある会の会長など私ごときが受けるべきではないと言う思いと旧車の王様と評されるライラック号と言うオートバイの特殊性や稀少性に非常に重みと歴史を感じる気もしますが私自身は他の皆様の様に特筆するような車両に対する技能や知識は持ち合わせておりません、基本がやっつけなのでどうでもいいのです、動いて走ればいいのです、しゃべりますから即罷免レベルです。

中略

しばらく前にラジオでこんなことを行っておりました ひとつの何か爆発的にヒットしたり有名になったりするがそれがまた何かの理由で下火になってしまったりするがどうかするとそれが全く消えてしまったりする訳ではなくそれらを支持する人たちが必ず集まって何かを継承したりする……マニアの誕生である、ライラック友の会も同じでしょう。 変わり者、馬鹿と言われて大いばり…不思議な縁ではありますが自分の出来る事で継承のお手伝いが出来たらと思ひます。

遠藤輝義 〒431-2103 浜松市北区新都田2-12-13 電話 053-42-5618 携帯 090-6462-9296

お便り紹介

日置義明様 題42回ライラックの集い また颯爽と疾駆するライラック号に会うことが出来ます。それも友の会会員民様が日頃苦心苦勞してオートバイを整備・維持・愛情を注いでいる結果だと思います。私達、元丸正社員の人達も70歳以上、此れにならない健康管理に心がけるいい機会です。今回の集いに参加しライラック号に触れ元気をもらおう！！一人でも多くの参加を心からお待ちしています。では会場でお会いしましょう。

元 丸正自動車社員 佐藤能清

丸正自動車元社員の方々へ

いつも友の会へのご協力ありがとうございます。今回も元社員の方々との懇親会を開催します。お仲間を誘って是非参加してください。懐かしい方とお逢いできることでしょう。幹事は元経理課佐藤能清さん元塗装課松本征四郎さんをお願いしています。なお会の活動を知ってもらうため一部の方々にニュースを送っておりますがご希望の方は幹事まで10月25日までに申し込んでください(無料ですからご安心を)

佐藤能清さん 北区三方原町266-3 TEL054-336-3333 松本征四郎さん 中区広沢3-17-1 TEL054-452-5737

特別寄稿 ポンポンの街 浜松

2017.8.9 伊藤明俊

戦後、遠州地方は織屋(織布業)が盛んで一時はガチャマン景気があり、ガチャンと布を織ると万円儲かるというほど景気が良かったです。ところがその景気も長くは続かず、我が家も織布業でしたが廃業し、たまたま父の同級生が東海溶接の社長の弟専務の小柴さんをお願いして私の兄貴が東海溶接に入社しました。その会社がライラックの車体を』作っていると聞き、初めてその車名を覚えました。ライラックを見たとき全体的に良くまとまったバイクでエンジン音も静かで、またチェーンもなくシャフトドライブと聞き「本当に素晴らしいバイクだなー」と今でもその感動を覚えています。遠州地方は織機からオートバイ作りに鞍替えし多くの街工場が乱立し、一獲千金を夢見てオートバイ作りに没頭していました。まさに浜松はポンポンの街でした。ちなみに、私が今までに乗ったライラックの車種はベビーライラック、UY250、FY250、LI18、LS38です。現在はLS18を2台、LS38を所有しています。このような貴重なライラックを親から子供、孫に受け継いでもらい、長く保存してくれるよう願っています。



息子の嫁と孫です



寄稿者 伊藤明俊さん

編集後記 短い間でしたがお世話になりました。次号からは安田治さん山本典生さんが編集を担当されるようです。乞う ご期待というところでしょうか ライラック友の会 永遠に！！！！

ドンスケ

